KORG Fraunhofer IIS

News Release

https://www.live-extreme.net

2024年6月18日

Live ExtremeがMPEG-H 3D Audioのライブ配信に対応へ
OTOTEN 2024にてデモ展示予定

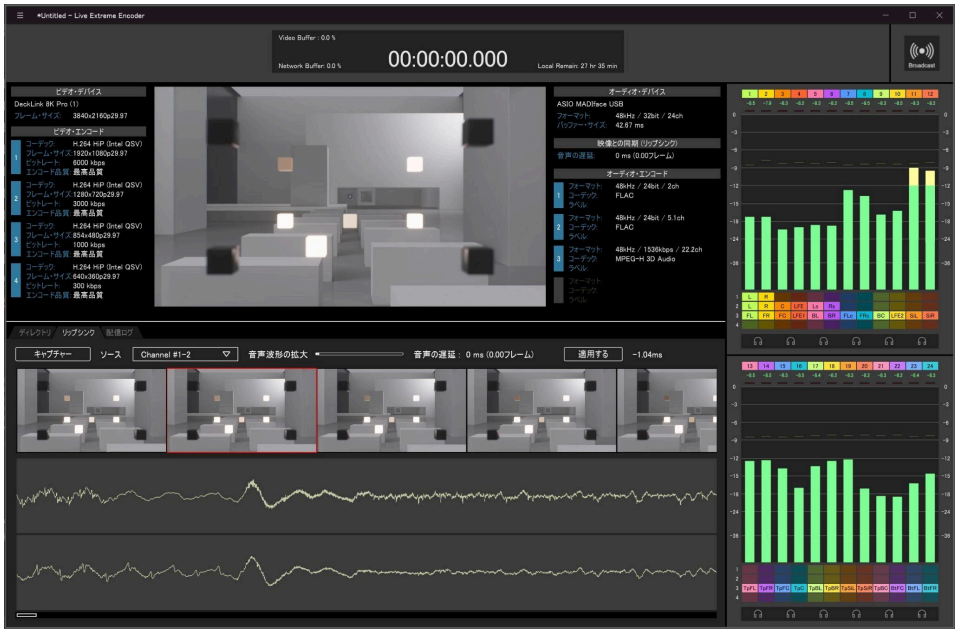
株式会社コルグ（本社: 東京都稲城市、代表取締役社長: 加藤世紀、以下コルグ）は、インターネット動画配信システム「Live Extreme」の次期バージョンにおいて、立体音響フォーマット「MPEG-Hオーディオ」の配信に対応することをお知らせします。

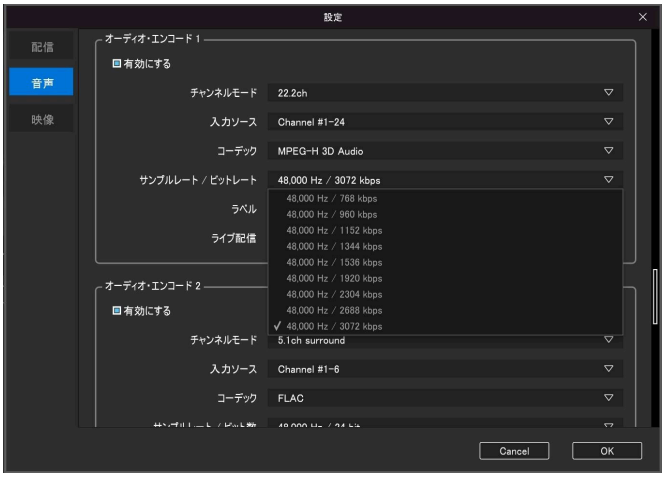
Live Extreme | MPEG-H AUDIO

コルグが2020年9月に発表したインターネット動画配信システム「Live Extreme」は、オーディオ・クロックを配信システムの軸とした「オーディオ・ファースト思想」や、ロスレス／ハイレゾ・オーディオに対応した高い音質が好評を博し、これまでに150公演以上のコンサートやイベントの配信に採用されてきました。2023年には「AURO-3D」や「Dolby Atmos」による立体音響配信機能も追加し、既に多くの配信で利用されています。

このたびコルグは、世界をリードするドイツの音響研究所「Fraunhofer IIS」とライセンス契約を締結し、Live Extremeの次期バージョンであるv1.14（2024年8月リリース予定）に「MPEG-Hオーディオ」のライブ配信機能を搭載することを決定いたしました。

MPEG-Hオーディオは、パーソナライズ可能な没入体験を提供する次世代オーディオ技術です。このオブジェクト・ベースのシステムは、主要プラットフォームで利用可能な、ソニーの「360 Reality Audio」音楽ストリーミングの基盤となっています。韓国の地上波UHD TVサービスで唯一の音声コーデックとして採用されているほか、ブラジルの「TV 3.0」放送サービスでは唯一の必須音声コーデックとなっています。さらに、日本の次世代地上デジタル放送仕様でも採用が決定しています。Live Extremeの対応コーデックに新たにMPEG-Hオーディオが加わることで、高音質配信や立体音響配信の更なる普及が見込まれます。





「Live Extremeの使命は、他のストリーミング・システムでは実現できない最高品質のオーディオを提供することです。22.2チャンネル・ベースのオーディオや、ピュア・オブジェクト・ベースのストリーミングといった機能は、MPEG-Hオーディオの機能なしには実現できませんでした。多くの配信が、この最高のクオリティで提供される日が待ち遠しいです」（株式会社コルグ取締役　大石耕史）

「MPEG-Hオーディオをコルグの Live Extremeに統合することは、より多くの家庭に最高品質の次世代エンターテインメント体験をストリーミングするための重要なステップです。コルグとのパートナーシップは、完璧さを求める共通の情熱によって推進されたものであり、世界中の視聴者にとって忘れられない体験となることでしょう」（フラウンホーファーIIS メディア技術シニア・エンジニア　ヤニク・グレーヴェ）

MPEG-Hオーディオの配信仕様

配信プロトコル		HLS, MPEG-DASH
配信形式		ライブ配信 疑似ライブ配信（収録済みコンテンツのライブ配信） オンデマンド配信
音声	オーディオ入力	最大25チャンネル
	コーデック	MPEG-H 3D Audio Baseline Profile
	サンプルレート	48kHz
	ビットレート	32, 40, 48, 56 64, 80, 96, 112, 128 (kbps/ch)
	チャンネル・ベース	2ch, 5.1ch, 7.1ch, 5.1.2ch, 5.1.4ch, 7.1.4ch, 22.2ch
	オブジェクト・ベース	最大24エレメント
	メタデータ入力	MPEG-H Control Track

Live Extreme公式サイト: https://live-extreme.net
MPEG-Hオーディオの情報は: www.mpegh.com

OTOTEN 2024

6月22日～23日に東京国際フォーラムにて開催される「OTOTEN 2024」のコルグ・ブースでは、MPEG-H 3D Audioを搭載したライブ配信エンコーダー「Live Extreme Encoder v1.14」をデモ展示予定です。さらに、MPEG-H 3D Audioをはじめ、各種立体音響フォーマットの再生に対応したSTB（セットトップ・ボックス）用アプリケーション「Live Extreme Experience」の参考出品も予定されています。



開催日時：6月22日(土) 10:00～19:00, 6月23日(日) 10:00～17:00
出展場所：東京国際フォーラム ガラス棟B1F（Fraunhofer IISブース正面）

展示内容：
Live Extreme
・「Live Extreme Encoder v1.14」（ライブ配信エンコーダー）
・「Live Extreme Experience for Android TV, Fire TV, Apple TV」（再生アプリケーション【参考出品】）
・4Kテレビと5.1.4chスピーカー・セットアップによるデモ・コンテンツの再生
・OTOTEN会場からLive Extremeにて生配信されている「オーディオ協会セミナー」の視聴

OTOTEN2024詳細：https://www.jas-audio.or.jp/audiofair/

Fraunhofer IIS について https://www.iis.fraunhofer.de/ja/ff/amm.html

フラウンホーファー研究機構は、ドイツに本部を置く世界有数の応用研究機関であり、76研究所に30,800人のスタッフを擁し、年間研究予算は約30億ユーロにのぼります。1985年に設立されたフラウンファーIISは、フライヤー研究の国際的な研究所であり、マイクロエレクトロニクスおよびITシステムソリューションとサービスのトップクラスの研究を行っています。
オーディオ・メディア技術の分野では、30年以上にわたってメディアのデジタル化を推進してきました。フラウンホーファーIISは、mp3やAACの開発に貢献し、最新のオーディオ・コーデック(MPEG-H Audio 、xHE-AAC 、EVS 、LC3/LC3plus 、Symphoria 、Sonamic 、upHear等)の提供により更に高いレベルのユーザー体験を実現しました。今日、10億台以上の民生用電子機器、コンピュータ、携帯電話には、フラウンホーファーIISの技術が含まれています。

【MPEG-Hオーディオに関するお問合せ先】
Fahim Nawabi
電話 +81 90 4077-7609
fahim.nawabi@iis-extern.fraunhofer.de

KORG について https://www.korg.com/jp/

株式会社コルグは、1963年の創業以来、一貫して電子楽器の製造に取り組み、日本でのシンセサイザー開発をいち早く手がけるほか、1975年には世界初の針式メーターを採用したコンパクト・チューナーを発表するなど、「KORG」ブランドの下に、独自の創造性と技術力を駆使した常に時代をリードする画期的な製品を世界各国で発表してまいりました。
特にシンセサイザーにおいては、その高いサウンド・クオリティ、機能性で国内外のトップ・ミュージシャンをはじめ、多くの音楽ファンから支持を得ています。
現在では、シンセサイザー、チューナーのみならず、DJ/ダンス関連製品、エフェクター、レコーダーから、デジタル・ピアノまで幅広いジャンルの製品を企画開発しています。

Live Extreme について https://live-extreme.net

株式会社コルグが開発した業界史上最高音質によるインターネット動画配信システム。最大4Kの高解像度映像とともに、高音質なロスレス・オーディオをはじめ、更に高品位なハイレゾ・オーディオ（最大PCM 384kHz/24bit および DSD 5.6MHz）をライブ配信できる世界初*の画期的なシステムです。

*サンプリング周波数96kHzを超えるハイレゾ・オーディオに対応した動画配信システムとして（コルグ調べ）

【Live Extremeに関するお問合せ先】
株式会社コルグ 技術開発部 Live Extreme担当
EMAIL: live-extreme@korg.co.jp
Live Extreme公式サイト : https://live-extreme.net
Live Extreme公式Twitter : @KorgLiveExtreme